

# 日本放送作家協会賞

第13回 日本放送作家協会賞

昭和48年5月21日 於ホテル・ニュージャパン



協会賞ブロンズ像

この像は、柳原義達先生の造型による「明日への希望」を表わしたものです。左手の「ふたば」は、出発の意。この賞を得て、改めてこれを起点として精進していただきたいという願いをこめて、造られたものです。

昭和四八年度

第一三回受賞者一覧

優秀番組賞 「赤ひげ」(NHK)

演出者賞 石橋 冠(NTV)

男性演技者賞 萩原 健一

女性演技者賞 松坂 慶子

大衆芸能賞

演芸部門 ミヤコ 蝶々

ショウ部門 ザ・ドリフターズ

CM作品賞 ソニー・トリニトロンカラーテレビ

(自然シリーズ「サワガニの親子」、  
「タコの赤ちゃん」)

ソニー株式会社

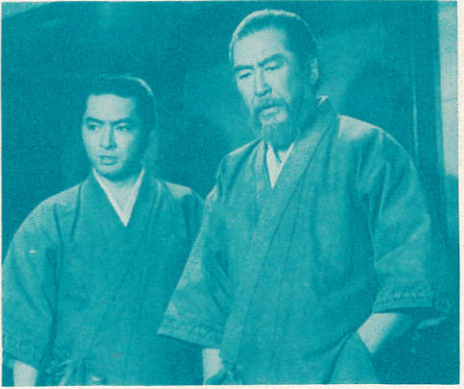
特別賞 柴田 忠夫(JOLF)

番組特別賞 「レオナルド・ダ・ビンチの生涯」

(イタリアライ・TV)

優秀番組賞

「赤ひげ」



NHK

山本周五郎の長短篇を「赤ひげ診療譚」の人物配置をかりて、一年間、毎回完結のテレビ・ドラマとした。

江戸末期の国立病院ともいうべき小石川養生所を舞台に、そこに働く医師たちと江戸庶民との交流を通して、現代にも通じる真のヒューマンイズムのあり方を追究するユニークな時代劇番組である。

脚本・倉本聡、石堂淑朗、杉山義法ほか。  
出演・小林桂樹、あおい輝彦、黒沢年男、浜木綿子、望月真理子ほか。

庶民の友、そして 師弟愛

久板 栄二郎

福祉は今日、社会問題、政治問題の中心テーマである。ほんとうの福祉がどうあるべきかの一端を「赤ひげ」は見せてくれるような印象をまず受ける。

庶民の中にとびこみ、暴力を排し、権威とたたかい、あくまで庶民の友として奮闘する赤ひげ先生の人間像は、現代への鋭い諷刺であり、抗議である。

そこにはまた、美しい師弟愛が描かれている。形式にとられず、ときには反発・対立しつつも、固い心のきずなを支えられている人間関係……それは現代が失って

いるもの……師弟と言わず、親子と言わず、何と現代は素漠とした関係であり、老いも若きも孤独感に悩んでいることか。そして、それなればこそ、そこに描かれているような強く、しなやかな心の交流に、人は郷愁と共感をもつてはなからうか。なお、小林桂樹、あおい輝彦など、配役にも当を得、舞台は養生所という地味な場にしばられながらも、適度のユーモアと娯楽性が加味されて、話は明るく展開する。茶の間芸術として出色の番組であると思う。

## 男性演技者賞

### 萩原健一



萩原健一（はぎわら・けんいち）  
本名、萩原敬三。昭和二十四年七月二日生まれ。昭和四一年「ザ・テンプターズ」のヴォーカルとしてデビュー。沢田研二と共にグループサウンズのプリンスとして活躍。四六年、ロック・グループ「PYG」を結成、現在に至る。翌年、松竹「約束」に出演し、フレッシュな演技力と個性により好演、俳優としての地位を決定した。以後、映画、テレビを中心に活躍。NTV「太陽にほえろ」、NHK「明智探偵事務所」、TBS「東芝日曜劇場」、ATG制作「股旅」（監督・市川崑）、東宝「化石の森」（監督・篠田正浩）など。  
現住所——千代田区有楽町一の一。渡辺企画内。

### 発散する現代性

田上 雄

「黙って立っているだけでサマになるタレントだ」と、誰かが話していた。だが、それだけでは彼の魅力の総てを表わしたとは言えない。彼の本当の良さは、怠惰な現状に飽き足りず、ひたむきに行動する彼の表情の中にあるのだ。彼は、常に慢性的な苛立ちと未来への絶望を発散しながら、ブラウン管に登場する。一言にして言えば、彼、萩原健一君は、不安に満ちたこの現代そのものなのである。

演技の面では、まだ稚拙と見る向きもあるだろう。しかし、巧まらずして彼の肉体が表現する現代感覚は、名優の計算されつくした演技を超越する迫力があり、ドラマの真実味を深めてくれる。その意味からも、十分この受賞に値する演技者であろう。歌手から俳優への安易な転向組が多い中で、さわだつて自らの個性を貫いている萩原健一君に、今後いっそうの奮闘を期待するものである。おめでとう！

## 女性演技者賞

### 松坂慶子



松坂慶子（まつざか・けいこ）  
本名、同じ。昭和二七年七月二〇日生まれ。日大二高卒、現在、日大文学部国文学科聴講生。  
昭和四二年、劇団ひまわりに入団。四七年、大映より松竹に入社。「辻が花」、「黒の奔流」、「藍より青く」等に主演し、現在「宮本武蔵」のお通に扮して出演中。主な出演番組は、NHK「若い人」、「国盗り物語」、TBS「白い夏」、「思い橋」、NTV「鉄平と順子」、フジテレビ「愛のはじまるとき」など。  
現住所——東京都中野区東中野四の二四〇一。

### 松坂君のこと

高橋 玄洋

彼女は、私のイメージネーションをかきたてる。彼女には、女優として汲めどもつきない泉のようなところがある。「春の嵐」、「若い人」、「白い夏」、「思い橋」と、このところ連続的にお付き合いして、少しも飽きないどころか、今度

はもっと違った人間像で勝負しようとする意欲をかきたててくる。松坂君はそんな役者だ。一〇年に一人の大型女優になる人だと思ふのは、あながち私のほれこんだ弱みだけではあるまい。



# 大衆芸能賞

(演芸部門)

## ミヤコ蝶々



ミヤコ蝶々(みやこ・ちようちよう) 本名、日向鈴子。東京生まれ。昭和二年七歳のとき、「少女漫才」で地方巡業中初舞台をふむ。のち吉本興業、宝塚新芸座を経て、上方演芸を結成(昭和三〇年)重役となる。さらに東宝を経て、松竹芸能に所属(三六年)、今日に至る。新芸座当時、南都雄二とコンビを組み「漫才学校」をはじめ、ABC「夫婦善哉」で活躍。郵政大臣賞(三一年)など栄光に輝いた。また舞台では「女ひとり」、「ぼてじやこ」などヒット作を放ち、女優の座を決定的にした。  
現住所—箕面市桜ヶ丘一の一〇の四三

おたずねします

蝶々さん

金田 達夫

蝶々さんって方、たえず自分で自分をいじめて生きてる人ではないでしょうか。

芸の上でも、私生活でも。

何が悲しくて、客用トイレにホーム・パルもある豪邸を新築したか……。『建てるのに借金した』ので、返済のためバリバリ働く目標とする。ラテン音楽大流行のとき、本職シャッポの「キカス」を歌ったのも、横文字音楽への挑戦という目標のあらわれ……。

つまり、いつも自分で自分に、高い、たかあい目標をたて、それへ挑戦、克服……。そのあくなき繰返し。そう思われるんです。そこで今回受賞対象の「夫婦善哉」の名司会、これだけでは満足しないドン欲なフアンの一人として、私、おたずねします。雄さんを亡くされたいま、次の、高い、たかあい目標はなんなのですか、蝶々さん……。

# 大衆芸能賞

(シヨウ部門)

## ザ・ドリフターズ



それぞれ一国一城の主であったプレイヤーを糾合して、昭和三九年秋結成された音楽とコントのシヨウグループ。したがってリーダーのいかりや長介をはじめ、荒井注高木ブー、仲本工事、加藤茶の五名はいずれもバンド演奏をも十分にこなせる。台本を尊重しつつ、特異の獨創性を發揮する努力家たちとして、玄人筋のウケも抜群。主な出演番組に、NTV「あなた出番です」、TBS「ドリフターズ・ドン」など。渡辺プロ所属。

ドリフターズ 讚

大倉 徹也

ドリフターズの笑いは、いかりや式論理と計算と稽古に基づいて、からだごと創り出されています。ドリフターズの笑いの作者は、ドリフターズ自身なのです。ドリフターズの笑いは、生きています。テレビを楽しむ人々が今日を生きているよ

うに、荒井サンも仲本さんもブータンも加トチャンも生きています。そして長サンの笑いに賭ける執念と、エネルギーのサマジサ、スバラシサ!!  
がんばれドリフターズ!!



# 演出者賞

## 石橋 冠



石橋冠(いしばし・かん)  
 昭和十一年九月一〇日生まれ。昭和三五年、早稲田大学第一政治経済学部卒業。同年、日本テレビに入社。「水色の季節」、「90日の恋」の制作のほか、「太陽の地図」「彼らの悪い夏」、「ひやみず作戦」、「いとこ同志」、「亭主みたいな弟」、「赤ちゃんがいっぱい」、「愛の夜明け」、「2丁目3番地」、「3丁目4番地」、「冬物語」などの演出作品がある。

### 心優しき人

布勢 博一

石橋冠ちゃんの作るドラマは優しさにあふれている。冠ちゃんが登場人物を愛すること、恋人の如くなるのである。画面の美しさ、いたずらに奇をてらうことのない正攻法の演出ながら、こぼれ出る叙情の香り。それにもまして、一つ一つのカットに、人物の些細な動きに、演出家の

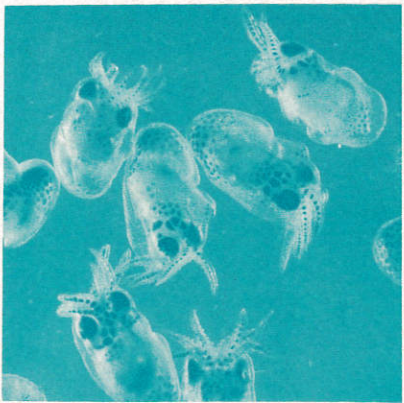
丹念な手のあとを発見することの嬉しさは、やはり、冠ちゃんが、登場人物を溺愛するところから始まっているように思われる。冠ちゃん、おめでとう。今後も、どうぞ作品に溺れて下さい。今のテレビ・ドラマには、それこそが貴重なのですから。



## CM作品賞

# 「ソニー・トリニトロン カラーテレビ」

(「自然シリーズ」「サワガニの親子」、「タコの赤ちゃん」)



ソニー株式会社

「ソニー株式会社」創立—昭和二十一年五月。資本金—六六億二、五〇〇万円。取締役社長—盛田昭夫。  
 「日本の生んだ世界のマーク」のとおり、多国籍企業としてあまりにも有名。日本初のテープレコーダ、トランジスタラジオ、世界初のトランジスタテレビに加え、世界初のトリニトロン方式カラーテレビを開発。またも全世界の注目を浴びた。受賞作品「自然シリーズ」のCFは、博報堂、東京秀映の製作。

### 質的向上 / 論議沸騰!

狩野 新

べに生姜のようなカニの赤ちゃん、小粒のいちごみたいな、可憐なタコの誕生風景。

◇ ◇ ◇  
 自然界の神秘的姿を、鮮やかなカラーで見せた、ソニーのカラーテレビ・コマーションに、CM賞はじまって以来の最高票数が集中しました。家庭の茶の間にふさわしい、さわやかで、ほほえましい驚きと、次

のシリーズに期待をいだかせるこのコマーションこそ、幅広い購買層をもつソニーのイメージにぴったりです。  
 ◇ ◇ ◇  
 ソニー、ナショナル、浅田裕、丸井、モーター、龍角散のユニークな六作品が残り、長時間にわたる接戦でしたが、協会の圧倒的票数こそ貴重な意見であると、全員一致。ソニーの入賞が決定しました。

# 特別賞

## 柴田忠夫

JOLF



柴田忠夫（しばた・ただお）  
香川県出身。高松一高、早大文学部英文  
科卒業。昭和三〇年JOLF入社。企画・  
演出を担当した「君美しく」、「哀愁の園」  
「忘れ得ぬ人」、「誰よりも君を愛す」、  
「愛と死のかたみ」、「アッチャン」など  
数多くの、主としてオリジナル脚本による  
連続ドラマがすべてヒットし、民放ラジオ  
に空前のドラマ・ブームを築いた。その他  
演出作品には、詩劇「叫び」（芸術祭奨励  
賞）、「まぼろしの国での孤独」（芸術祭  
奨励賞）など多数。詩誌『風』同人。詩集  
『幻想飛行』（思潮社）ほか。

### 花開いたラジオ・ドラマ

田井 洋子

長い年月一貫してラジオ・ドラマと共に  
歩きつづけた人、成長と隆盛と衰退を身を  
もって経験された人、その間、多くの作家  
たちの心にラジオ・ドラマへの情熱を注ぎ  
つづけた人、詩人としての柴田忠夫さんは、  
その純粹さをドラマの中に開花させ、演出

企画製作者として、格調の高い作品を数多  
く作られました。  
飾り気のないお人柄の中に秘められた仕  
事への根気と情熱。ラジオ復興のきざし  
見える昨今、いっそうのご健闘を祈りつづ  
私共の感謝を捧げる次第です。



## 番組特別賞

### 「レオナルド・ダ・ビンチの生涯」



イタリアRAI・TV

イタリア放送協会が中心となり、フラン  
ス放送協会、スペイン国営TV、イタリア  
のルーチェ・プロが協力して制作。レオナ  
ルド・ダ・ビンチの手記や伝記をもとに、  
その生涯と人間像を描いたドキュメンタリ  
ー・ドラマ。監督―レナート・カステラ  
ーニ、主演―フィリップ・ルロア（レオ  
ナルド）。解説者―ジュリオ・ボゼッテ  
イ。

### どこに原因があるか

内村 直也

この作品は、ドキュメンタリーである  
同時にドラマであり、今日のテレビとして  
非常に優秀である。残念ながら、日本の作  
品には、これに抗するものがなかったとい  
うのが、審査委員会の意見であった。その

原因はどこにあるのか。私たち作家側はも  
ちろんであるが、なによりも、日本の制作  
者側においてに発奮してもらいたい。私た  
ちは、イタリアRAI・TVに心から敬意  
を表し、これを強い刺激としたい。



# 選考経過

昭和四八年五月贈賞の、日本放送作家協会賞各部門の受賞者の選考経過はおおむね次のとおりであった(敬称略)

部門別選考委員会の経過は、優秀番組部門では、会員アンケートの得票数最高の「レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯」(イタリアRAI・TVほか制作)が選考委員会の支持も最高であった。外国制作物を当該部門の該当とするのはいかがか、という慎重論に対して、国内の作品に「レオナルド」を凌駕するものありとは思われぬ本年であるから、制作者の奮起を促す意味も含めて、「レオナルド」を推すべし、という積極論もあったが、討論の結果「レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯」については、番組特別賞を設けて顕彰することとし、当該部門ではNHKの「赤ひげ」を推すこととなった。

演出者賞部門では、アンケート得票高の三者「冬物語」の石橋冠(NTV)、「わが愛」の大山勝美(TBS)、「北越誌」の斎藤暁(NHK)が最終選考に残ったが、石橋冠の「正統派演出技法を基調とした柔軟で情感豊かなテレビ演出」が、高く評価された。

男性演技者賞の部門においては、仲代達矢の重厚さ、中村敦夫のニヒルな演技等も評価の対象となったが、

今年度、とくに新しい、そして印象に残る強烈な個性を示した萩原健一が、一九七二年の収穫として推された。

女性演技者賞では、前年度も話題になった山岡久乃が会員多数の支持を得、それをやや下回って、松坂慶子、中野良子と踵を接したが、長時間にわたる熱烈な討論の末、本年は新人賞の意味をも加味してということ、松坂慶子にきまった。新鮮さはいまでもなく、着実な演技、将来性などが評価の基礎となったものである。本年はこの女性演技者賞部門が、その決定までの間、もつとも激論を重ねた難航部門であった。

毎年、話題を提供する大衆芸能賞部門の今年も、アンケート得票の差も歴然としていた故もあって、両部門ともさしたる紛糾もなく、演芸部門はミヤコ蝶々(夫婦善哉)、ショウ部門ではザ・ドリフターズ(八時だヨ!全員集合)が推された。

演芸では、あだち竜光、鳳啓助・京唄子も検討されたが、蝶々がコンビの雄二を失いながら、なお番組を墨守した芸魂が委員の称賛を集めた。さらに、従来漫才芸から脱け出した芸の幅も高く評価された。

ショウでは、淀川長治、愛川欽也がザ・ドリフターズに続いたが、台本を尊重し、ショウ効果を高める芸

域を示し続けてきたザ・ドリフターズには及ばなかった。

実際にそれぞれのフィルムを映写しつつ検討するCM作品賞選考委員会は、決選の段階で、ソニー、ナショナル、丸井、モービルガソリン、龍角散等を残した。数次にわたる討議の結果、ソニーとナショナルの「松下さん」に絞られ、再度フィルム検討の末、ソニーの「自然シリーズ」(サワガニの親子)、「タコの赤ちゃん」にきまった。斬新な自然

科学の導入が、高い格調、美しいトーンと共に強い支持を得たためである。

特別賞には、ニッポン放送のラジオ演出で、数々の芸術祭受賞作品を演出してきた柴田忠夫の永年にわたる功績が、関係者全員の評価を得て該当ときまり、同時に「レオナルド」に番組特別賞を贈ることが確認された。以上、選考委員会の結果を理事会が承認して、今回の受賞者が決定したのである。

## 協会賞選考委員一覧

担当常務理事 西沢 実

優秀番組賞(委員長・久板栄二郎)

委員 伊馬春部 内村直也 岡本克巳 狩野 新 小島貞二 神津友好

演出者賞(委員長・伊馬春部)

委員 寺島アキ子 村田修子 布勢博一 松本重美

男女演技者賞(委員長・岡本克巳)

委員 江上照彦 岡本克巳 田井洋子 高橋玄洋 田上 雄 松木ひろ

大衆芸能賞(委員長・小島貞二)

委員 大倉徹也 金田達夫 相良 順 城 悠輔 能貝正比古 宮本京

CM作品賞(委員長・狩野 新)

委員 遠藤 淳 門川美代子 佐々木陽子 藤 公之介 やなせたかし

協会賞式典委員会(委員長・大林 清)

委員 西沢 実 西島 大 水原明人 宇津木 澄 大倉徹也 門川美

代子 狩野 新 来宮洋一 神津友好 松本重美

# 受賞者一覽

## 日本放送作家協会賞

### 第一回(36年)

企画賞 「日本の素顔」(NHK)  
演出者賞 せんぼんよしこ(NTV)  
男性演技者賞 松村達雄  
女性演技者賞 黒柳徹子  
スポンサー賞 東京芝浦電気株式会社  
TRG賞 和野勉(NHK)  
サンキュー賞 文化放送本社受付一同  
館野淑子  
(TBS受付係)

### 第二回(37年)

企画賞 「兼高かおる世界の旅」(TBS)  
演出者賞 山田智也(ABC)  
大坪都築(文化放送)  
男性演技者賞 ハナ肇とクレイジーキャ  
ッツ  
女性演技者賞 池内淳子  
スポンサー賞 株式会社資生堂  
TRG賞 「娘と私」番組関係者  
(NHK)  
サンキュー賞 東京新聞ラジオテレビ欄  
第三回(38年)

### 第四回(39年)

企画賞 大映株式会社テレビ室  
演出者賞 八橋卓(NET)  
山口淳(NHK)  
特別功労賞 吉田秀雄  
特別賞 「FM名作劇場」(NHK)  
「木島則夫モーニングショー」  
司会者トリオ(NET)  
CM作品賞 「文明堂豆劇場」(文明堂)  
サンキュー賞 「お天気ママさん」(T  
BS)

男性演技者賞 藤田まこと  
女性演技者賞 中村メイ子  
大衆芸能賞 古今亭今輔  
CM作品賞 セイコー企業CFの製作ス  
タッフ  
「スズキ自動車工業CFの製  
作スタッフ」  
スポンサー賞 近畿日本鉄道株式会社  
TRG賞 梅本重信(NHK)  
サンキュー賞 「チロリン村とクルミの  
木」関係者一同(NH  
K)

### 第五回(40年)

企画賞 「風雪」(NHK)  
演出者賞 久野浩平(RKB毎日)  
「シルバークレールの空間」  
演出者グループ(ニッポン  
放送)  
男性演技者賞 今福正雄  
女性演技者賞 南田洋子  
大衆芸能賞 牧伸二  
TRG賞 「おかあさん」(TBS)  
「山本富士子アワー」(フジ  
テレビ)  
CM作品賞 「アイデアル」  
サンキュー賞 「オヤカマ氏とオイソガ  
氏」(文化放送)

### 第六回(41年)

企画賞 「日産スター劇場」(NTV)  
「日本の謎」(毎日放送)  
演出者賞 岡山尚幹(フジテレビ)  
男性演技者賞 長門裕之  
女性演技者賞 小山明子  
大衆芸能賞 「お笑い三人組」関係者  
(NHK)  
特別賞 「FM名作劇場」(NHK)  
「木島則夫モーニングショー」  
司会者トリオ(NET)  
CM作品賞 「文明堂豆劇場」(文明堂)  
サンキュー賞 「お天気ママさん」(T  
BS)

### 第七回(42年)

最優秀番組賞 「現代の映像」  
演出者賞  
テレビ部門 今野勉(TBS)  
ラジオ部門 田辺春夫(NHK)  
男性演技者賞 中村錦之助  
女性演技者賞 佐藤オリエ  
大衆芸能賞 獅子てんや・瀬戸わんや  
CM作品賞 パイロット万年筆株式会社  
新人脚本賞 渡辺やえ子「町」、「バラ  
のとげ」  
蕪木利代「賽の河原の鬼ン  
婆」

### 第八回(43年)

最優秀番組賞 「広島原爆三部作」(広  
島テレビ)  
演出者賞  
テレビ部門 小川秀夫(フジテレビ)  
ラジオ部門 沖野 瞭(NHK)  
男性演技者賞 渥美 清  
女性演技者賞 渡辺美佐子  
大衆芸能賞 桂 米朝  
CM作品賞 「トヨタカラー」(トヨ  
タ自動車販売)  
新人脚本賞 戸麻 悟「うたてなや」  
第九回(44年)  
最優秀番組賞 「ひよっこりひよたん  
島」(NHK)  
「私の昭和史」(東京12  
チャンネル)

### 第十回(45年)

最優秀番組賞 「題名のない音楽会」  
(NET)  
「朱鷺の墓」(NHK)  
演出者賞 柳下英彦(東海ラジオ放送)

### 第十一回(46年)

最優秀番組賞 「人間の歌シリーズ」(木  
下恵介プロダクション・  
TBS放映)  
「Uボートの遺書」  
(NHK)  
演出者賞  
テレビ部門 末盛憲彦(NHK)  
ラジオ部門 鈴木久尋(文化放送)  
男性演技者賞 堺 正章  
女性演技者賞 十朱幸代  
大衆芸能賞 東京落語会(NHK)  
ショウ部門 糸居五郎  
CM作品賞 「ハウスジャワカレー」  
(ハウス食品工業株式会社)

### 第十二回(47年)

最優秀番組賞 「日本史探訪」(NHK)  
「みなしごハッチ」(童  
子プロダクション)  
演出者賞  
テレビ部門 瀬木宏康(MBS)  
ラジオ部門 竹内日出男(NHK)  
男性演技者賞 児玉 清  
女性演技者賞 小川真由美  
大衆芸能賞 笑福亭仁鶴  
ショウ部門 三波伸介  
CM作品賞 「新グロモント」(中外製  
薬株式会社)  
特別賞 宮田 輝(NHK)





発行 社団法人 日本放送作家協会  
港区六本木6-2-5 原ビル

編集 日本放送作家協会広報委員会